

2025 年度

一般選抜入学試験 問題集

日本史

 共栄大学
教育学部 / 国際経営学部

2025年度 一般選抜入学試験 A日程 (日本史)

1 古代の都はその様子がしばしば歌に詠まれた。それに関する次の史料I～Vについて以下の設問に答えよ。
(解答番号 1 ～ 7)

I さざなみの しがの辛崎さきあれど	大百人の船まちかねつ	柿本入麻呂
II 三香の原 くにのみやこは荒れにけり	大宮人のうつろひぬれば	(田辺福麻呂)
III 春過ぎて 夏來にけらし白たへの 衣ほしたり天の香具山(天皇)		
IV 青丹よし 青葉の京師は咲く花の 薫ふがごく今さかりなり(小野老)		
V 大王は 神にしませば赤駒の はらばう田井を都となしつ(大伴御行)		

問1 史料I・IIに詠まれる都に関する天皇の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから1つ選びなさい。解答番号 1

① I - 天智天皇 ② I - 天武天皇 ③ I - 孝德天皇 ④ I - 天武天皇

問2 史料IIIに詠まれる都を、次の①～④のうちから1つ選びなさい。解答番号 2

① 飛鳥淨御原宮 ② 近江大津宮 ③ 藤原京 ④ 平城京

問3 史料I～Vに詠まれている都に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを次の①～④のうちから1つ選びなさい。解答番号 3

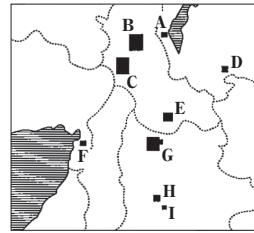
a Iに詠まれた都のとき、庚午年籍が作成された。
b IIに詠まれた都のとき、三世一身の法が発布された。
c IIIとIVに詠まれた都では、IVの都の方が位置的にIIIの都よりも北にある。
d Vに詠まれた都のとき、大宝律令が完成した。

① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問4 史料I～Vに詠まれている都が置かれた時期を古いものから年代順に正しく配列したもの、次の①～④のうちから1つ選びなさい。解答番号 4

① I - V - II - III - IV ② I - V - II - IV - III
③ I - V - III - II - IV ④ I - V - III - IV - II

問5 次の地図中A～Iは都が置かれた位置を表したものである。



(1) 地図中Cに遷都した天皇を次の①～④のうちから1つ選びなさい。解答番号 5

① 姫嶋天皇 ② 安徳天皇 ③ 元明天皇 ④ 桓武天皇

(2) 壬武天皇は社会不安から度々遷都を繰り返した。聖武天皇が遷都した都の位置としてふさわしくないものを次の①～④のうちから1つ選びなさい。解答番号 6

① A ② D ③ E ④ F

(3) 歴代における都の中で、最も長く都が置かれていた場所を次の①～④のうちから1つ選びなさい。解答番号 7

① B ② F ③ G ④ H

-1-

-2-

2 次の文章は鎌倉時代の政治に関して、時期ごとに生徒たちが資料を調べ、発表を行った学習活動の記録である。各班の発表を読み、以下の設問に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(解答番号 8 ～ 12)

A班

私たちA班は、「なぜ新しい武家政権は鎌倉に生まれたのか」をテーマに調べてみました。

基調報告

源頼朝は1180年、石橋山の戦いで敗北した後、父祖ゆかりの地である鎌倉に入り、ここを根拠地として東国武士との主従関係を構築していきます。頼朝は平家の討伐を弟たちに任せ、自らは鎌倉を動かすに権力の基盤づくりをしていましたといえます。鎌倉幕府がつい成立したかについては、⑤1180年から1192年までの間でいくつかの説があります。その十数年間に、頼朝は幕府の組織づくりだけではなく、さまざまな観点からの鎌倉の町づくりも行なっていました。頼朝は、政治や経済がすでに発達していた西国ではなく、東国に自らの拠点を一から築き上げたかったのではないかでしょうか。

問1 下線部⑤に関して、鎌倉幕府の成立時期におけるX・Yの二つの側面を考える事が出来る。X・Yそれぞれを根拠づける情報を、Xはa・b、Yはc・dから選び、その組合せとして適当なものを、下の①～④のうちから1つ選びなさい。解答番号 8

二つの側面

X 鎌倉幕府を武士の軍事政権として捉える
Y 鎌倉幕府と朝廷とのかかわりを重視する

情報

a 塙の浦の戦いで平氏を滅亡に追いやった。
b 奥州合戦で源義仲を追討し、奥州藤原氏を滅亡に追いやった。
c 寿永二年十月宣旨により頼朝の東国支配権が認められた。
d 後白河法皇により頼朝が征夷大将軍に任命された。

① X - a, Y - c ② X - a, Y - d
③ X - b, Y - c ④ X - b, Y - d

B班

私たちB班は「いつ北条氏が幕府の実権を握ったのか」について調べてみました。

基調報告

まず源頼朝以降の将軍に関する出来事を書き出してみます。

1199年1月 源頼朝が没し、源頼家が家督を相続	↓
1199年4月 頼家の親裁が制限される	↓
1203年9月 源実朝が将軍就任、翌年、頼家が謀殺される	X
1219年1月 実朝が暗殺される	Y
1226年1月 4代将軍就任	Z
1244年4月 5代将軍就任	

B班のなかでは、⑥北条氏が幕府の実権を握った時期について、何人かの人が、Xの時期ではないかと推定しましたが、それ以外の時期を考えた人もいました。また実権を考えるうえでは政治組織や法制などに注目すべきではないか、とする意見も出ました。幕府の権力に関して⑦の時期以降の将軍はほとんど実権がなかったという点と、13世紀中頃には⑧幕府の力が西国にまで及んでいたという点ではB班の多くの人が同じ意見でした。

問2 下線部⑥をXの時期と考える根拠について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから1つ選びなさい。解答番号 9

① 執権であった北条時政が、評定衆を設置して権力を強化した。
② 北条時政が太政大臣につき、北条氏一門を朝廷の要職に配置した。
③ 政所別当であった北条義時が、和田義盛を滅ぼして侍所別当を兼ねた。
④ 北条義時が、西面の武士を設置して幕府の軍事権を掌握した。

問3 下線部⑥をYの時期に起こった大規模な戦乱で御家人を統率できたことによるのではないかと主張する生徒もいた。Yの時期に行われた政策として最もふさわしくないものを、次の①～④のうちから1つ選びなさい。解答番号 10

① 執権の補佐役として北条時房を連署に任命した。
② 京都に六波羅探題を設置した。
③ 没収した所領に對し新たに新補地頭を任命した。
④ 九州の御家人たちを異国警固番役に勤員した。

-3-

-4-

2025 年度 一般選抜入学試験 A 日程 (日本史)

問6 下線部①について述べた次の **a** ~ **d**について、正しいものの組合せを、次の①~④のうちから1つ選びなさい。解答番号 **31**

- a** 日本では、社会主義政党の党首を首班とする内閣が成立した。
- b** 日本では、憲法の改正や従来の外交方針の転換を訴える内閣が成立した。
- c** ソ連では、スターリンの死を契機に平和共有への路線が打ち出された。
- d** ソ連では、アフガニスタン侵攻を背景に財政難が深刻化した。

① **a** + **c** ② **a** + **d** ③ **b** + **c** ④ **b** + **d**

—13—

2025 年度 一般選抜入学試験 A 日程 (解答)

【日本史】

[1]		
問題	解答	配点
1	①	3
2	③	3
3	①	4
4	④	4
5	④	3
6	①	3
7	①	3

[2]		
問題	解答	配点
8	①	4
9	③	3
10	④	3
11	②	3
12	①	3

[3]		
問題	解答	配点
13	③	3
14	②	3
15	③	3
16	④	3
17	①	3
18	④	3
19	①	4

[4]		
問題	解答	配点
20	③	3
21	①	3
22	②	3
23	③	4
24	④	3
25	④	4

[5]		
問題	解答	配点
26	②	4
27	②	3
28	③	3
29	②	3
30	①	3
31	③	3



共栄大学

学務部 入試課

〒344-0051 埼玉県春日部市内牧 4158
電 話 048-755-2490 (直通)